地域の子育てサポーターとして活動されている児童委員の松本さんにお話をお聞きしました。

甲賀市主任児童委員
代表　松本佐知子（まつもとさちこ）さん

悩んだときは気軽に相談を

「私たち児童委員は、各地域の学校や保育園、子育て支援センター、子育て広場、子ども食堂など、子育てに関連する施設の訪問や活動を支援しています。現在は訪問を自粛していますが、民生委員とともに赤ちゃん訪問に行ったり、10カ月検診での見守りやお手伝いをしています。

2人目の出産をするためにコロナ禍で入院したあるお母さんのお話があります。1人目の出産でお見舞いも付き添いもダメと言われたら自分自身どうしていたかわからなかった、と話してくださいました。

子育ては24時間365日、休みのない大変な仕事です。到底ひとりで育てられるものではありません。多くの大人と関わり、育ててもらうことで、子どもはその愛情を受けて心豊かに育つものだと思います。しかし、コロナ禍で人と全く会わない状況で余計つらいと思います。お母さんが元気であれば、子どももきっと元気に育ってくれます。一人で悩まずつらいと思ったときは、お近くの保健センターや子育て支援センターなどに迷わず助けを求めてくださいね。」

子育て支援の情報誌「ママパスポート甲賀」の代表田中さんと編集に携わっておられる吉居さんにお話を伺いました。

ママパスポート甲賀
代表　田中香織（たなかかおり）さん
編集長　吉居恵梨香（よしいえりか）さん

▲ママパスポートを通じて社会とのつながりが広がってほしいですねと話す田中さん（左）と吉居さん

田中さん「発行しようと思ったきっかけは自分自身も子育てをしている中で孤独を感じていました。仕事もしていなかったため社会に必要とされているのかといった不安もありました。

そんなとき、子育て情報誌の存在を知り、子育て中の保護者と地域や企業など社会とのつながりを保つことで、子育てが一段落したお母さん自身も輝ける、そんな情報をお届けできればと思いました。

コロナ禍が続いていますが、保護者が正しく知識をもって行動するということが大切だと思います。時には外の空気を吸って視点を変えてみるのも良いと思います。」

吉居さん「私自身4年前に甲賀市に引っ越してきて、周りに友達もいなくてすごく不安な中で子育てをしてきました。自分が子育て支援センターに行って友達をつくったように、子育て中の方の第一歩を応援したい、そんな気持ちで編集に携わっています。」

田中さん・吉居さん「ママパスポートを通じていろんな人とのつながりが広がっていけば良いですね」

▲子育て支援センター、図書館などに設置されているママパスポート甲賀

市内の子育て支援センターを利用されている保護者の方にお話を伺いました。

身近に話ができる存在の大きさ

Tさんご夫婦（水口町）

「コロナ禍で一番の悩みは、同じ子育て世代の方とお話がしたいのにできないということですね。ご近所には同い年くらいの子育て世代がいないので、子育て支援センターがあることで親どうしもつながることができました。

気分転換の方法は図書館で本を借り家で読んだり、お昼に公園でお弁当を食べるなど大人も子どももできるだけストレスをためないようにしています。

▲支援センターは日頃の悩みの相談にも乗ってくれる場所ですと話すTさんご夫婦（甲賀子育て支援センター）

〝今日は家族や、子どもとしか話をしてない〟ということもあるので、子育て支援センターに来れば、子どもどうしもいつの間にか楽しく遊んでいますし、支援員の方が悩みも聞いてくれるので助かっています。

外出をためらっている方もいるかもしれませんが最初の一歩を踏み出せば気軽に悩みを打ち明けられる人に出会えるかもしれません。

コロナ禍は厳しい状況ですが子どもが石鹸で手を洗うのがすごく上手になりました（笑）」

同じ月齢の子とお友達に

Aさん（水口町）

「コロナ禍で子どもに本当は見せてあげたい動物園や水族館などに気軽に行けなくなったことが大きいですね。

気分転換の方法は近所を散歩したり、実家が近いので祖父や祖母に会いに行ったり、できる限り人が少ない公園を結構探したりしましたね。

子育て支援センターは、市の健診時に紹介してもらったことがきっかけです。

現在は利用人数の制限がありますが、同じ月齢のお子さんもいるので助かります。」

▶たくさんの遊具もある子育て支援センター

子どもの笑顔があふれるまちへ
～すまいる・あくしょん宣言～

この宣言は、コロナ禍の子どもの声から生まれた、子どもの笑顔を増やすための滋賀県発の「子ども版・新しい行動様式」に賛同するものです。宣言には次のような取り組みが掲げられています。

①子どもたちが困ったことや心配なことを相談できる仕組みや安心して過ごせる居場所をつくります。
②苦しいときこそ、お互いを思いやり正しい情報に基づき行動できるよう啓発します。
③子どもたちの遊び場を提供する地域の活動を応援します。
④子どもたちの新たなチャレンジとキャリア教育を支援します。

子どもだけでなく子どもに関わるすべての人が笑顔になれる、そんな甲賀市をめざします。

#甲賀市すまいるあくしょん（ハッシュタグ）をつけてInstagram（インスタグラム）に投稿しよう！

宣言を機に「コロナ禍でも子どもたちの笑顔を守ろう」をテーマに、子どもの笑顔の写真や、お散歩風景や手作りご飯など、何気ない日常の一コマの素敵な写真を募集します。

「#甲賀市すまいるあくしょん」を付けてインスタグラムに投稿してみてね。

応募方法　「Instagramここまあちねっと（@cocomaachi）」をフォロー し、写真を投稿してください。（応募いただく写真は、ご自身で肖像権等責任のある内容でお願いします。）

募集期間　令和4年1月末日まで

その他　集まった写真から特賞5点を選出し「ここまあちねっと」サイトのトップに掲載する予定です。

COCOMAACHI

問合せ　子育て政策課
TEL 69-2176　FAX 69-2298

ストップ！　児童虐待
～ 11月は児童虐待防止推進月間です～

虐待は親または親に代わるものによって、子どもの心身の成長に悪影響を及ぼす行為です。「しつけのつもり」であっても、子どもの成長に有害であれば虐待です。

- **身体的虐待**―殴る、蹴る等
- **心理的虐待**―暴言、無視等
- **ネグレクト**―食事を与えない、長時間の放置等
- **性的虐待**――わいせつな行為をすること等

虐待をしている側にその意識がない場合も多くあります。周囲の皆さんが早めに気づくことで、虐待をしてしまっている親を助けることができます。

虐待かもと思ったら
すぐに連絡をください

連絡をしていただいた方のプライバシーは厳重に守られます。また、連絡は匿名で行うことも可能です。

皆さんにご協力いただくことで、子どもを守り、子育てに悩む保護者を支援することになります。

連絡（相談）先

- 子育て政策課家庭児童相談室
  TEL 69-2177　FAX 69-2298
- 中央子ども家庭相談センター
  TEL 077-562-1121　FAX 077-565-7235
- 24時間対応子どもを守るホットライン
  TEL 077-562-8996
- 児童相談所虐待対応ダイヤル
  TEL 189（いちはやく）